

2024年度 エコアクション21 環境経営レポート

 **ゲイビ車輛株式会社**



® 環境省

エコアクション21
認証番号0009887

対象期間：2024年4月～2025年3月

発行日 2025年5月28日

目次

対象組織・活動範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～2

環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

組織の体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

環境経営計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6～7

環境経営目標の実績と取組み結果の評価・・・・・・・・ 8

環境関連法規等の遵守状況と違反・訴訟の有無・・・・ 9

代表者による全体の評価及び見直し・・・・・・・・・・ 10

EA21 12年間の取組結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11



対象組織・活動範囲

1. 事業社名及び代表者

ゲイビ車輛 株式会社
代表取締役社長 宮本 秀明

2. 所在地

〒 731-0521
広島県安芸高田市吉田町常友1577-1

3. 事業内容

新車・中古自動車販売
自動車リース販売
自動車整備業(車検・点検・钣金塗装)
レンタカー事業
損害保険代理店



4. 事業の規模(全拠点計)

従業員数	29 名
社屋床面積(サービス工場)	1101.9 m ²
社屋床面積(ショールーム)	696.4 m ²

5. 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者	ゲイビ車輛(株) マツダオートザム芸備	須澤 康博
	マツダオートザム三次	上西 弘実
EA21環境推進事務局	ゲイビ車輛(株)	宮本 悦子
連絡先	TEL : 0826-42-0245 FAX: : 0826-42-0724 e-mai : geidaiaz@lime.ocn.ne.jp	

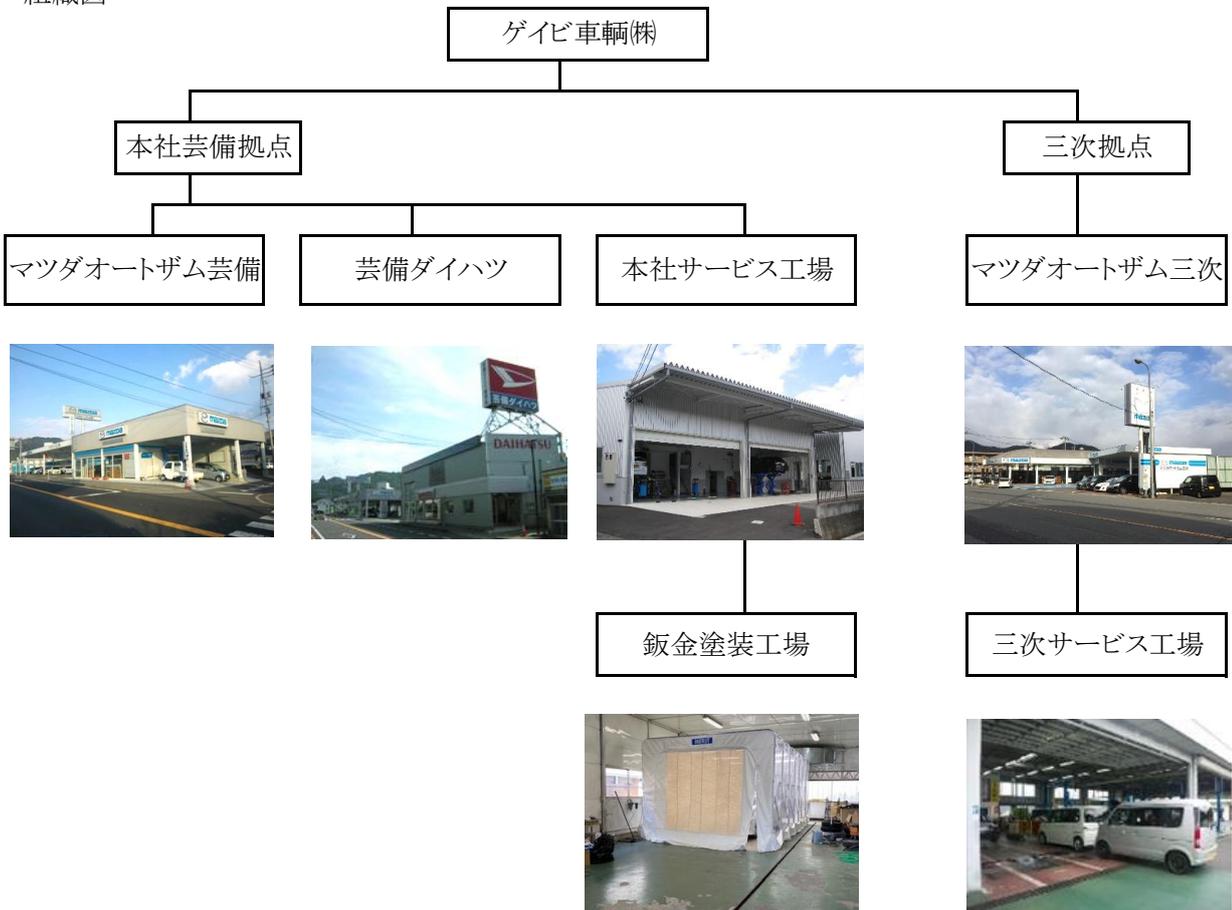
対象組織・活動範囲

6. 認証・登録対象範囲

- ・ゲイビ車輛 株式会社 全拠点
- ・2011年より、『ゲイビ車輛(株)本社(マツダオートザム芸備、芸備ダイハツのショールーム併設)』と、『マツダオートザム三次』において取組を開始。この全2拠点を認証・登録の対象範囲とする。

拠点地域	名称	所在地	事業内容
安芸高田市	本社サービス工場	広島県安芸高田市吉田町常友1577-1	本社業務・自動車整備 自動車钣金塗装・レンタカー事業
	マツダオートザム芸備	広島県安芸高田市吉田町常友1577-1	自動車販売 自動車保険の取扱い
	芸備ダイハツ	広島県安芸高田市吉田町常友1577-1	自動車販売 自動車保険の取扱い
三次市	マツダオートザム三次	広島県三次市十日市東6-11-3	自動車販売・自動車整備 自動車保険の取扱い

・組織図



環境経営方針

基本理念

私達、ゲイビ車輛株式会社は 地元を中心としたお客様に車両販売と車体整備の信頼と支持をいただくために、社員それぞれが広島県備北地域社会で“やりたい”“こうなりたい”と自分の目標を持ち「本気」でそれに自分の能力・特技を120%生かし挑戦し「真心」持ってやり遂げます。そして、会社の発展と共に皆さんに還元し、私達の幸せの実現を目指します。

この経営理念のもと、ふる里の豊かな自然、きれいな空気、美しい青空、木の繁る山、水のきれいな川、このような美しい土地環境へ配慮しエコ活動、リサイクルの積極的活用は重要な社会的責任と認識しています。

美しいふる里の環境を次の世代へ引き継ぐために環境保護活用を事業活動あらゆる部門で実践して参ります。

行動指針

- 1 環境に関する法規制を遵守します。
- 2 限りある資源を大切にすため、省資源・省エネルギーに努めます。
- 3 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進します。
- 4 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
- 5 環境に配慮した商品の提供を推進します。
- 6 環境改善目標を定め、継続的な環境経営を実践します。
- 7 地域に密着した経営活動を通し、顧客満足度の向上をめざします。
- 8 全従業員にこの環境経営方針を周知徹底するとともに、環境経営レポートを作成し、公表します。

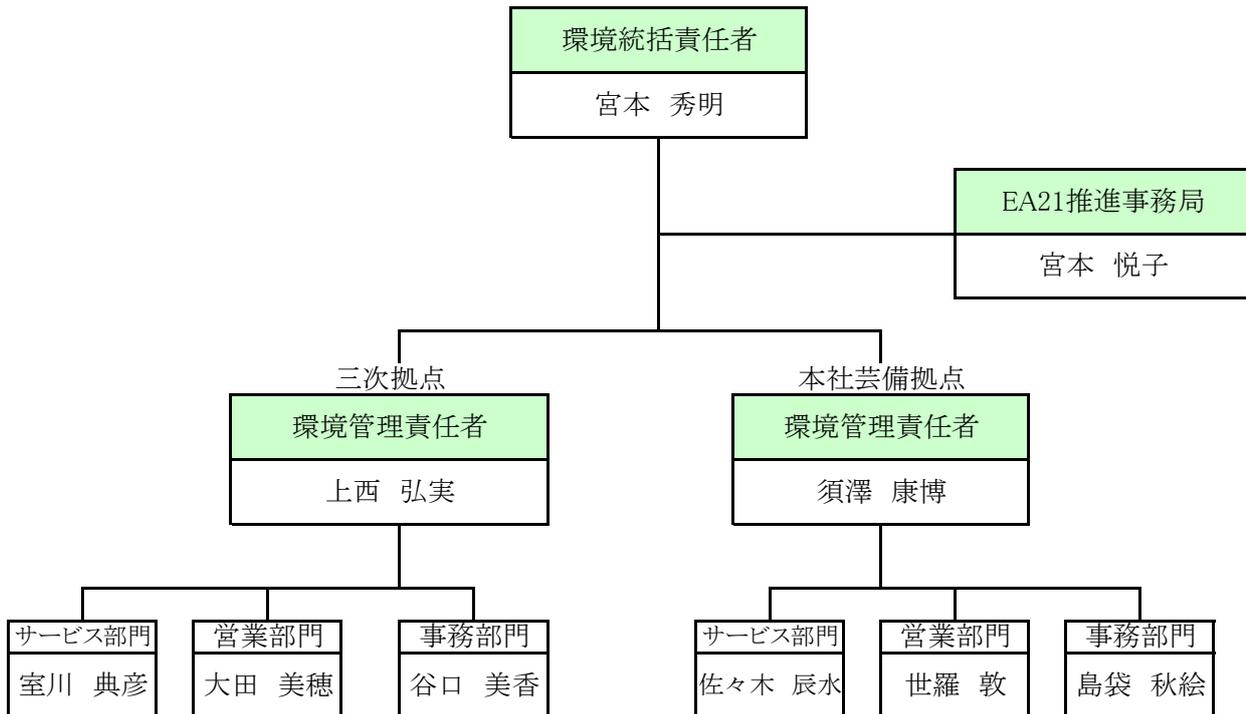
制定 2013年9月1日

改定 2020年7月1日

ゲイビ車輛株式会社

代表取締役社長 宮本 秀明

組織の体制



担当者	役割、責任及び権限
環境統括責任者 <社長>	環境マネジメントシステム(以下EMS)に関する統括責任者 <ul style="list-style-type: none"> ・ EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意 ・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境経営目標の設定を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 <役員・業務/サービス部門長>	実務上の責任者として、全社の環境取り組みを推進する (※代表者は、環境経営の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲) <ul style="list-style-type: none"> ・ EMSの構築、実施、管理 ・ 環境経営計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認 ・ 環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポートの確認
EA21推進事務局	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として全社の環境経営の取組を推進する <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営の取り組みの指導・支援 ・ 環境データの集計・取りまとめ
部門長	全社の環境経営の取り組みを推進する <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当部門の環境経営取り組みの責任者

環境経営目標

<ダイビ車輛(株)の環境経営目標と取組み方針>

事業活動で生じる環境負荷の中で、特に影響の大きい「電気使用量」、「ガソリン・軽油」、「一般廃棄物排出量」、「水使用量」の削減と、「環境に配慮した製品のサービス」に取り組み「顧客満足度の向上」を目指す。

1. 環境負荷の現状

項目		単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	117,436	112,838	111,146
電力使用量		kWh	100,849	97,935	95,990
化石燃料	ガソリン使用量	L	11,492	10,950	9,567
	軽油使用量	L	3,704	3,952	4,248
	灯油使用量	L	6,774	6,004	6,770
	LPG使用量	m ³	34	29	38
一般廃棄物排出量		kg	3,747	3,023	3,504
水使用量		m ³	883	781	865
点検パックの販売促進		台	467	459	424



(注) 電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力の平成30年度の調整後排出係数 0.636(kg-CO₂/kWh)を使用しています。

2. 環境経営目標

項目		単位	2020年度 実績 (基準年度)	目標		
				2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	118,643	117,457	116,270	115,084
(削減率)			-	▲1%	▲2%	▲3%
電力使用量		kWh	101,537	100,522	99,506	98,491
(削減率)			-	▲1%	▲2%	▲3%
化石燃料	ガソリン使用量	L	12,673	12,546	12,420	12,293
	(削減率)			▲1%	▲2%	▲3%
	軽油使用量	L	3,540	3,505	3,469	3,434
	(削減率)		-	▲1%	▲2%	▲3%
灯油使用量		L	6,185	6,185	6,185	6,185
(削減率)			-	現状維持	現状維持	現状維持
一般廃棄物排出量		kg	4,144	4,103	4,061	4,020
(削減率)			-	▲1%	▲2%	▲3%
水使用量		m ³	892	892	892	892
(削減率)			-	現状維持	現状維持	現状維持
点検パック販売促進		台	477	501	525	549
(増加率)			-	5.0%	10.0%	15.0%
顧客満足度の向上		—	—	地域貢献活動への取組	地域貢献活動への取組	地域貢献活動への取組
産業廃棄物排出量		—	産業廃棄物排出量は整備業務量により増減することから数値目標は設定せず、分別の徹底と法に基づいた適正処理に努めることとする。			
化学物質の削減		—	化学物質については、使用量が少量の為、削減目標を設定せず、適切に管理していることを定期的に確認することとする。			

主な環境経営計画と取組実績

当社の主な環境経営計画と取組実績は以下の通りです。

二酸化炭素排出量の削減計画

CO₂排出量総計取組実績

<活動内容>

- ・エアコン設定温度の統一
- ・エアコン及び室外機の定期点検
- ・看板のタイマー設定
- ・不用な照明の消灯
- ・待機電源オフ



2024年度目標	➔	2024年度実績	評価
116,270 kg-CO ₂		110,443 kg-CO ₂	

電力使用量削減取組実績

2024年度目標	➔	2024年度実績	評価
99,506 kWh		99,712 kWh	

化石燃料の削減計画

ガソリン使用料削減取組実績

<活動内容>

- ・意識付けのために給油量の記録
- ・以下の項目を意識したエコ運転の推奨
 - ①急発進・急ブレーキ・急ハンドルを控える
 - ②暖気運転を控える
- ・労働安全衛生教育・交通安全教育の実施

2024年度目標	➔	2024年度実績	評価
12,420 リットル		8,559 リットル	

軽油使用料削減取組実績

- ・管理車両の定期点検を行う
- ・管理車両のタイヤチェックを行う
- ・ストーブのエコモードを使用する
- ・アイドリングストップを心がける
- ・タイヤや部品類の適正管理・整理整頓



2024年度目標	➔	2024年度実績	評価
3,469 リットル		4,048 リットル	

灯油使用料削減取組実績



2024年度目標	➔	2024年度実績	評価
6,185 リットル		6,677 リットル	

一般廃棄物排出量の削減計画

一般廃棄物排出量削減取組実績

<活動内容>

- ・分別・計量して廃棄することを徹底す
- ・汚れは洗い流して廃棄する
- ・大きいゴミは裁断して廃棄する
- ・積極的に裏紙再生紙を使用する
- ・社内連絡はメールを活用

2024年度目標	➔	2024年度実績	評価
4,061 kg		3,416 kg	

水使用量の削減計画

水使用量削減取組実績

<活動内容>

- ・水道蛇口に節水啓発の掲示
- ・蛇口、ホース、配管等に漏れや亀裂がないか定期的に点検をする
- ・洗車用の洗剤は適量を使用する

2024年度目標	➔	2024年度実績	評価
892 m ₃		763 m ₃	達成

点検パック販売促進

販売促進取組実績

<活動内容>

- ・点検パック拡販によりエコ整備の推進、増加を図る
- ・車検付パックを積極的に勧める

2024年度目標	➔	2024年度実績	評価
525 台		388 台	未達成

地域貢献活動の取組

中学生職場体験実習 (7月)



高校生職場体験・見学 (10月)

会社周辺一斉清掃 (年3回)



ペットボトルキャップ回収 ベルマーク・使用済切手収集

地域主催イベントへの 出店協賛



環境経営目標の実績と取組結果の評価

1. 環境経営目標の実績

項目	単位	2024年4月～2025年3月				評価	
		目標	実績	削減(増加)	目標達成率		
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	116,270	110,443	△ 5,827	105.3%	G	
電力使用量	kWh	99,506	99,712	206	99.8%	Y	
化石燃料	ガソリン使用量	L	12,420	8,559	△3,861	145.1%	G
	軽油使用量	L	3,469	4,048	579	85.7%	Y
	灯油使用量	L	6,185	6,677	492	92.6%	Y
一般廃棄物排出量	kg	4,061	3,416	△645	118.9%	G	
水使用量	m ³	892	763	△129	116.9%	G	
点検パック販売促進	台	525	388	△ 137	73.9%	Y	

(注) 評価欄の「G」=達成率100%以上、「Y」=達成率70%以上、「R」=達成率70%未満 を示します。

2. 環境経営の取組結果の評価と、次年度の取組

■ 二酸化炭素排出量の削減	
評価(及び評価理由)	次年度の取組
Y 電力量の削減 夏の暑さと冬の寒さが厳しく、エアコンの温度も当初の設定温度を変更しなければ環境の快適さが保てなくなっている。電力量は削減が難しい数値まで到達している。ダイハツショールームをLED照明に取替したことで、今後の使用量の改善に向かうことを期待したい。まだLED照明の未設置の場所についても今後に向けて検討が必要である。	エアコンの年式が古い場合、フィルター清掃も専門業者に依頼して一斉清掃が必要である。ショールームや事務所内の場所によって体感温度に差があるため、扇風機やヒーターを使うなどして温度調整ができる工夫を取り入れていく必要がある。
Y 化石燃料の削減 ガソリンの使用量を削減できたのは、デモカーの在庫を減らしたことも考えられる。しかし、営業活動には燃料は必要なものであるため、仕事を減らすことはできない。現状維持を心がける。	いずれの項目においても、現状維持を心がけ活動を行う。社用車のメンテナンスを行い、不具合を未然に防ぐ。
■ 一般廃棄物排出量の削減	
評価(及び評価理由)	次年度の取組
G 再利用できるものは積極的に活用し、また分別廃棄を徹底することで、削減につながった。	工場内で、今まで手を付けることが出来なかった場所の整理整頓を行い、本当に必要な物を見極め、事務用品についても在庫管理をして無駄に物を購入しない心がけをする。
■ 水使用量の削減	
評価(及び評価理由)	次年度の取組
G 特に問題なく活動できた。建物の老朽により、水漏れ箇所を発見。修繕もしくは取替対応が必要である。	水漏れ箇所の確認と再発防止に向けた修理の検討が必要である。
■ 点検パック販売促進	
評価(及び評価理由)	次年度の取組
Y 販売促進は継続的にできているが、加入数増加には繋がらなかった。目標値と現状の差が大きくなりすぎている。	点検パックの経済的メリットを説明して、引き続き活動を継続する。
■ 産業廃棄物の適正処理	
評価(及び評価理由)	次年度の取組
G 適正に管理できている。	処理料金が年々値上がりしている。引取方法の見直しをして経費削減を考えていきたい。
■ 地域貢献活動の取組	
評価(及び評価理由)	次年度の取組
G 清掃活動、職場体験実習は計画通り実施できた。地元の祭りやイベントの協賛を通して地域との繋がり作りもできた。ペットボトルキャップ、使用済み切手、バルマークの収集は継続しているが、今期は提出はできていない。次年度行う。	引き続き、活動の継続を続けていく。地元商工会との連携を密にして、少子高齢化の進む山間地域が活気づくイベントの提案と実現を目指す。

(注) 評価欄の「G」=よく実施できた。「Y」=さらに取組が必要。「R」=実施できなかった。 を示します。

環境関連法規等の遵守状況と違反・訴訟の有無

1. おもな環境関連法規と遵守状況

環境関連法令	法令要求事項	評価
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理	遵守
フロン排出抑制法	点検実施と記録作成・保存	遵守
浄化槽法	適正な維持管理	遵守
騒音規制法	特定施設の届出・規制基準の遵守	遵守
水質汚濁防止法	油水分離槽の管理	遵守
消防法	少量危険物の届出	遵守

2. 違反・訴訟の有無

上記環境関連法規の違反や訴訟は発生しておりません。また環境当局からの違反等の指摘はありません。

代表者による全体の評価及び見直し

対象事業所	ゲイビ車輛 株式会社
活動期間	2024年4月～2025年3月

作成者	EA21推進事務局 宮本 悦子
-----	-----------------

見直し 関連情報	項目	確認書類等	評価・コメント	
	1	環境経営目標及び目標達成状況	2024年度環境経営計画書	各部門で適正な管理と環境経営に取り組むことができています。しかし夏の気温上昇と冬の厳しい寒さに、異常気象が年々悪化してる現状は残念である。12年間の取組をみても、削減数値は限界のラインである。次は社内の環境整備に目を向けて、社員が働きやすい環境作りを目指していきたい。
	2	環境経営計画及び取組実施状況	2024年度環境経営計画書	各取り組みは計画通りに実行できている。
	3	環境関連法令一覧表及び遵守状況	環境関連法規等 取りまとめ表／遵守 状況チェック表	法令違反等の事例はなかった。今期は展示場の移転、土地の増設を行った。環境整備を継続して行い美化に努めたい。
	4	外部コミュニケーション・対応記録	—	外部からの苦情等はなかった。
	5	問題点の是正・予防措置の実施状況	—	該当事項なし。
	6	取引先・業界・関係行政機関その他の外部動向	取引業者	該当事項なし。
	7	前回までの代表者指示事項への対応	—	該当事項なし。
	8	地域貢献活動の取組	—	積極的な活動ができた。

評価者	代表取締役 宮本 秀明	実施日	2025年5月26日
-----	-------------	-----	------------

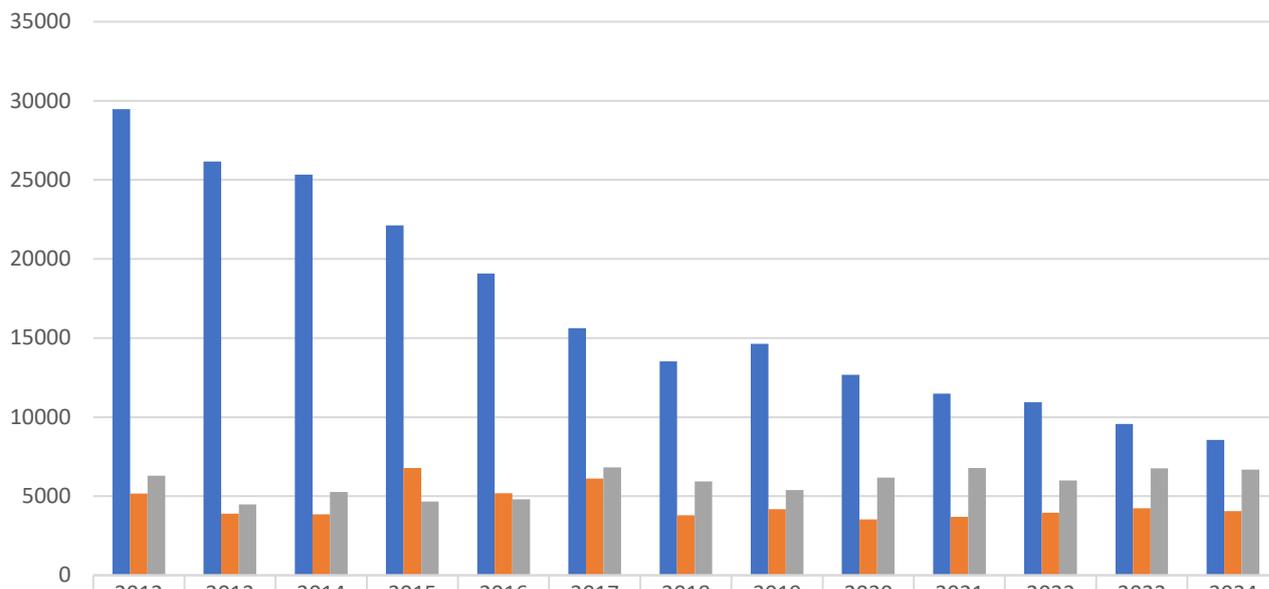
全体評価・コメント(環境経営システムへの有効性・環境への取組の適切性等)

環境経営は持続可能な取組と、環境への責任を明確にしてきたことで、具体的な環境経営活動の実現を目指してきました。しかし、残念ながら地球環境の悪化は進んでおり、頻発する災害、生態系や食物への悪影響は私達の生活を脅かしています。EA21の取組がもっと広がることを願います。今後も引き続き環境負荷の低減と、持続可能な成長を両立させるための取り組みを強化していきたい。

代表者による 全体評価・見直し	見直し項目	変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項	
	1	環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	2	環境経営目標	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	3	環境経営計画・取組項目	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	4	環境に関する組織(=実施体制)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	社員退職により組織体制の変更を行った
	5	その他のシステム要素	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	6	その他(外部への対応)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

EA21 12年間の取組結果

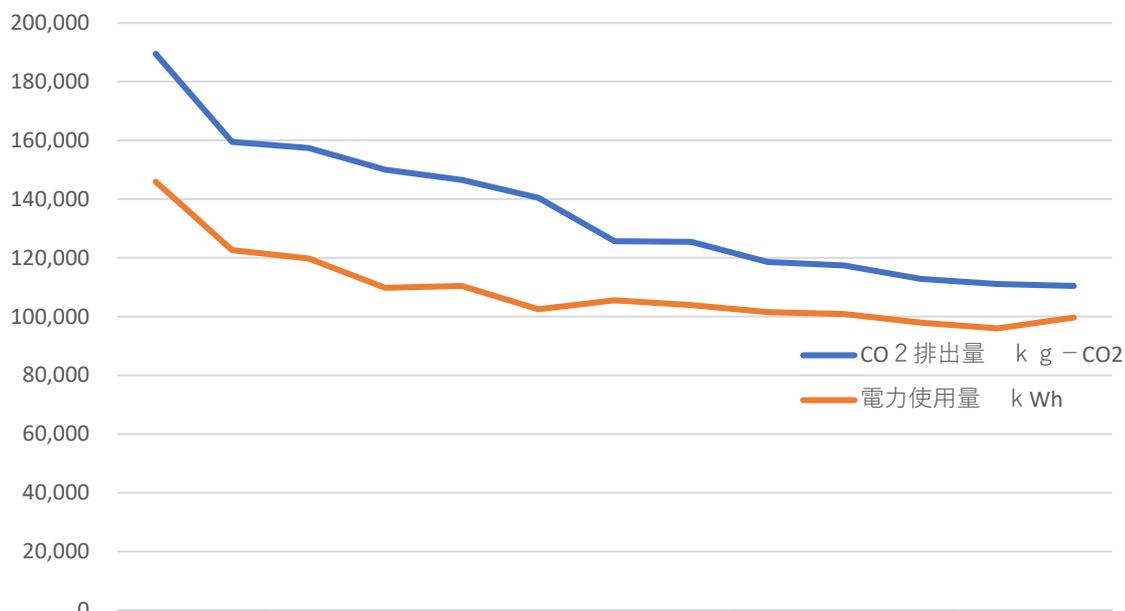
化石燃料使用量



■ ガソリン L	29472	26168	25332	22123	19066	15618	13527	14630	12673	11492	10950	9567	8560
■ 軽油 L	5177	3888	3858	6787	5188	6119	3791	4187	3540	3704	3952	4246	4050
■ 灯油 L	6303	4483	5260	4660	4803	6818	5939	5394	6185	6774	6004	6770	6677

■ ガソリン L ■ 軽油 L ■ 灯油 L

CO2排出量と電力使用量



CO2 排出量 kg-CO2	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
電力使用量 kWh	145,956	122,679	119,828	109,824	110,474	102,489	105,606	103,959	101,537	100,849	97,935	95,990	99,712